



▲あつあつのカニ汁や貝汁が無料で振る舞われ、冷えた体もポカポカになりました。



▲全国大会出場を果たした「クレフィオ FC 山口」の選手たち。

日曜朝市 3周年記念イベント

4月15日、梶漁港の日曜朝市3周年を記念したイベントが同漁港で行われ、早朝にもかかわらず多くの人にぎわいました。会場にはその日揚がったばかりの魚、カニ、ワカメなど朝市ならではの新鮮な海の幸が並べられましたが、あっという間に売り切れました。梶漁港の朝市は毎週日曜日7:30から開催されています。みなさんも一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

クレフィオ FC 山口

山陽小野田市、宇部市を拠点として活動する中学生サッカーチーム「クレフィオ FC 山口」が、各地域の予選を勝ち抜いた12チームが揃う「JFA プレミアカップ 2007」全国大会への初出場の切符を手に入れました。地区大会、県大会、中国地域大会と持ち前の団結力で勝ち上がったメンバーは、大会初日の5月3日、関西地域代表の強豪「ガンバ大阪ジュニアユース」と対戦します。



▲3月公演での七福神舞踊の様子

山陽商工会議所女性会が、活動の一環として演芸団体「ふあふあクラブ」を立ち上げたのは、昨年12月のこと。メンバーは同会会長である小松文子さんをはじめとする女性会の有志20人。今年の3月から市内山川の老人保健施設「あさ紫苑」で交流活動を開始しました。

「観るだけでなく、参加して楽しめること」をテーマに臨んだ初公演では、七福神の仮装舞踊、おかめ・ひょっこ踊り、ひげダンスにコーラスと、バラエティに富んだ演目を披露し、客席のお年寄りも飛び入りで参加するなど、笑顔が絶えることなく盛況のうちにイベントは幕を閉じました。

この公演で使った衣装や小物類、化粧品などは、全て自分たちの手によるもの。それもそのはず、化粧品屋さんからピアノの先生、美容師さんまで、会員のみなさんは、普段は地元で事業を営まれる女性経営者の面々。とは言え、それぞれの仕事を抱えながらの活動は大変なことが多いのではとの質問に、「団結力が私たちの力。それにお年寄りが喜んでくれる顔が何よりも励みです」と、微笑みながらも力強い会長の言葉。「女性会としての他の活動もあるし、もちろん自分たちの仕事もある。練習も必要なので、年に数回が限度かもしれないが、できる範囲でリクエストに応じていきたい」と語ってくれました。

定例での開催は年1回・3月とのことですが、今から来年の3月を心待ちにしているお年寄りの方も多いことでしょう。

夢
いっぱい!

「お年寄りが喜んでくれる顔が何よりも励みです」



「ふあふあクラブ」を設立した
山陽商工会議所女性会会長
こまつ ふみこ
小松 文子 さん